

娘には、相手の事をよく使える考える人間に、なりたいです。自分が一番大切な事は分かります、自分一人では何も出来ず、事を理解する事で、周りの方達の支援、あんな下めな身に染みと思えます。誰と并んでも「やりこ」の気持ちでやる事で、こんな人生、色々事、直面する事で必ず役に立ちます。何事も継続してやる志願は大切な事です。

「積少為大」⇒コツコツと積み重ねて得る事に期待します。

本当に便利で世の中に入りました。携帯端末があれば、遠い所にも住んでいる人と簡単にやり取り出来、宿題も答えがすぐ出てきます。今回の鼎新材を言わない「知らない」「木息係する」という、AIには出来ない人にしか出来ない事を志すといいたいと言いました。簡単に答えが出る日々に、自分の思いを文章にする、口に出して言える事が、あつたかのように感じています。

人が生きていく上で、負か強も必要だけれど、一番大切なのは道徳とまよ言いました。相手の気持ちを知らなければ、便利に繋がらないように感じています。

このお話を読み終えた時、祖母と親と立場は違いますが、「うんうん分かる!そういうものよね!」と思いました。親の心子知らずとは、よく言ったものです。でもきっと、子の心親知らずの部分もあって、子とも親が思っている以上に、毎日一生懸命生き、成長しているのでしょう。どれほど周りの人達から愛され、助けられているか、伝わっていかばいいなと思います。

「僕」には、思いやりにかけていたお話をしました。祖母の事を思いやれば、このように行動にはならなかった。その結果、信用を失ってしまった。失った信用は簡単に取戻せないと言いました。

今の相手のお気持ち分かる優しい心を持った人でいて欲しいです。優しい心を持っているので、それを行動に転じて相手にも伝わる様にしていきましょう。

おばあさんは、孫の健吾とメルの毎日できることを本当に楽しみにされていると男の子は思います。その気持ちを健吾はわかっていたのでしょうか？ケタイほしさに、おばあさんの気持ちを、お父さん、お母さんがどんな男の子でケタイを買ってくださるか、健吾の心と合わせて、自分の行動を見直してみよう。

